

Nivolumab(4週毎)+5FU+CDDP療法<<初日に5日分調製>>

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Nivolumab(4週毎)+5FU+CDDP療法

<<初日に5日分調製>>

4週毎 コース予定

疾患名 食道癌

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原() HBs 抗体() HBc 抗体() HCV 抗体()

スケジュール

		day1	day5
オプジーボ(ニボルマブ)	480 mg/body	↓	
フルオロウラシル	4000 mg/m ² /5日 【800 mg/m ² /日】	↓→
シスプラチン	80 mg/m ²	↓	

【注意】*シスプラチン投与時は1日の尿量が3000 mL以上になるよう、化学療法前日より輸液を行う

*シスプラチン、ニボルマブはポンプを使用しないこと

*他剤使用時は、ニボルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること

*ニボルマブはインラインフィルター(0.2 または 0.22 μm)を通して投与すること

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル 125 mg 1C 内服

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② オプジーボ 480 mg + 生食 52 mL 点滴静注 30分(100 mL/時間)

◎30分間あけて

- ③ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸 K10 mEq + 硫酸 Mg 補正液 4 mEq 点滴静注 120分(250 mL/時間)

- ④ day 1~day 6 フルオロウラシル + 生食 1000 mL 側管より輸液ポンプにて点滴静注約 120時間(10 mL/時間)

- ⑤ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注

- ⑥ シスプラチン + 生食 250 mL 点滴静注 120 分(250 mL/時間)
*生食 250 mL をバッグから前もって抜く
- ⑦ マンニトール S 300 mL 点滴静注 30 分(600 mL/時間)
- ⑧ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸 K10 mEq + 硫酸 Mg 補正液 4 mEq 点滴静注 120 分(250 mL/時間)
- ⑨ 生食 500 mL 点滴静注 120 分(250 mL/時間)
- ⑩ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑪ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑫ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

day 2 - 5

- ① デキサメタゾン 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ② ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ③ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ④ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑤ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

day 2, 3 アプレピタントカプセル 80 mg 1×朝 内服

	コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月 日	/	/	/	/	/
オプジーボ 開始時刻	↓				
フルオロウラシル 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓				
確 認					

Nivolumab(4 週毎)+5FU+CDDP 療法<<初日に 5 日分調製>>

	コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月 日	/	/	/	/	/
オプジーボ 開始時刻	↓				
フルオロウラシル 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓				
確 認					

	コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月 日	/	/	/	/	/
オプジーボ 開始時刻	↓				
フルオロウラシル 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓				
確 認					

	コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月 日	/	/	/	/	/
オプジーボ 開始時刻	↓				
フルオロウラシル 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓				
確 認					